

倉田議員

勝山市の健康長寿施策について

問 勝山市民は医療の高度化や介護施設の充実もあり、平均寿命が高いが健康寿命はあまり延びておらず、要介護状態の期間が他の市町村に比べて長いことは問題。健康寿命を延ばすために食・物、運動、コミュニケーションなど分野ごとに市民の行動目標を示すだけでなく、全庁的に行政施策を検討すべきと思うが見解を伺う。

答 第5次総合計画の策定を通じて、地産地消を推進しながら食生活改善に取り組むこと、市内の運動施設等を活用し運動に親しむこと並びに各地域の行事等に市民が参加することは健康づくりに大きく貢献するという認識を全庁的に深め、健康づくりの施策を推進していく。

商工業の振興について

問 商工業の振興を図るため、5力年で正規雇用100名増やすことを目標とし、企業誘致の推進と既存企業の高付加価値商品開発を積極的に支援する「企業アドバイザー（仮称）制度」の創設を検討すべきと思うが見解を伺う。

その他の質問
・災害対策について

答 今後の政策形成の中で新たな施策を検討していきたい。

市単土地改良事業補助金等について

問 市単土地改良事業補助金は70%補助であるが、今日の林業や農業は水資源涵養や地球環境問題への寄与が重視されていることから、受益者負担の低減化を検討できないか伺う。

答 補助率変更ではなく、他事業の活用や事業の組み合わせによる活用等も検討していきたい。



そばオーナー体験農園

帰山議員

来年度以降の事業等について

問 来年度以降の行事でのアピールポイントや、目標、期待する効果及び具体的な行動計画はなにか。

答 環境自治体会議勝山大会でのアピールポイントは、フォーブス電子版において世界で9番目にクリーンなまちにランク付けされたことや、電車存続に取り組み、えちぜん鉄道として復活させた市民の意識と行動力等である。

目的と期待する効果は、市民が環境に関心を持ち、すぐれた取り組みを知ること、レベルアップを図ることや、市民と行政が一体となってエコ環境都市を推進する気運が高まっていくことなどである。今後の予定については、来年度にエコ・クリーン市民会議を主体とした実行委員会を設立し、大会に向けて準備を進めたい。

文化・運動施設の整備について

問 市民会館等の改修と備品の充実予定、及び運動施設の整備と利用強化の計画、方針は。

その他の質問
・勝山市の道路網の整備計画について
・大学・研究機関との連携について

答 市民会館は計画的に改修等を実施し、利用者がより良い催物ができるようにしていきたい。

舞台用の備品については、すべての催物に使用する備品を備えることは困難だが、舞台関係設備の改修等と併せて計画的に備品の充実に努めたい。

全天候トラックの確保については、まずそのニーズ等を調査し、小・中学校のグラウンドの中にモデルケースとして、100mのコースを設定できないか今後研究したい。

